

令和3年度 事業報告書

〔 自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日 〕

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら、可能な限りコロナ前と同様のサーキット運営に戻すようレース大会、イベントの開催および会員走行等の営業を行った。

主要事業である、筑波ライセンスの会員数はコロナ禍にも関わらず、新規取得者数が、前年比16.1%増、既存会員含めた総会員数が前年比7.5%増となった。過去10年で伸び率、会員数共に最大となった。

会員による走行数は、前年度の落ち込みから大きく回復した。コロナ禍における三密回避のアウトドア志向やバイク人気サーキット走行の利用数アップに好影響を与えていると考えられる。

コース貸し出しについては、コース2000、コース1000およびジムカーナ場の総貸し出し時間および総売上が、平成31年度を超えたことからコロナ前の水準に戻った。

令和3年度は、長引く新型コロナウイルス感染症による先行き不安、不透明な状況が続いたが、平成30年度以来3年ぶりに売上9億円半ばを達成することができた。

一方、レース大会およびイベントは、中止はなかったものの長期間に渡り発出されていた緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置等を受け、半数近くが入場制限や無観客での開催となった。前年度に比べ入場者数は大幅に回復したが、売上回復には至らなかった。

各実施事業内容は以下のとおりである。

1. 公益目的支出計画に関する事業

(1) オートスポーツ愛好者に筑波サーキットの走行を提供する事業

多くのオートスポーツ愛好者に筑波サーキットでの走行を楽しんでいただくことにより、オートスポーツの普及を図るため次の事業を行った。

① ライセンス講習会の開催

新たに筑波ライセンスの取得を希望する者に対し、ライセンス講習会を46回開催し、受講修了者に筑波サーキットライセンスを交付した。

ライセンス交付者の内訳は、4輪693名（対前年度比6.1%増）、2輪637名（対前

年度比 29.2%増) であった。

なお、今年度より筑波サーキットにご来場できないライセンス取得希望者のために、自宅等からのリモートによるライセンス講習会を2回実施し、12名の参加があった。

② 筑波ライセンス会員の管理

筑波ライセンス会員等の更新や退会手続き、新規会員の入会手続き等会員に関する全般の対応および管理を行った。

なお、令和3年度末におけるライセンス所持者は、以下のとおり。

a. コース2000

(単位：人)

種 別	2 輪 車	4 輪 車	計
筑波ライセンス会員	2,460 (5.4%増)	1,667 (9.5%増)	4,127 (7.0%増)
ファミリー限定ライセンス会員	1,278 (7.4%増)	2,296 (6.1%増)	3,574 (6.6%増)
合 計	3,738 (6.1%増)	3,963 (7.5%増)	7,701 (6.8%増)

b. コース1000

(単位：人)

ミニバイクライセンス会員	2 輪 車 (ミニバイクのみ)	540 (18.4%増)
--------------	-----------------	--------------

() の%は対前年度比

③ 筑波ライセンス会員の走行の実施

筑波サーキットコース2000およびコース1000において、筑波ライセンス会員のスポーツ走行を行った。

(単位：台)

コース別	2 輪 車	4 輪 車
コース2000	28,188 (19.2%増)	12,537 (15.4%増)
コース1000	6,993 (39.8%増)	4,669 (20.7%増)

(2) オートスポーツ大会の開催事業

サーキット走行の理論および日頃の研鑽結果を発揮する場として2輪競技大会を開催するとともに、大会開催の告知をオートスポーツ愛好者等に広く行った。

大会の参加台数は1,713台(対前年度比198.7%増)、観客入場者数は20,404人(対前年度比329.1%増)であった。

- | | | |
|-------------------|----------|------------|
| ① 全日本ロードレース選手権 | 1 戦 2 日間 | 入場者制限 |
| ② 筑波ロードレース選手権 | 4 戦 4 日間 | 内 1 戦無観客 |
| ③ 筑波ツーリスト・トロフィー | 3 戦 3 日間 | 内 1 戦無観客 |
| ④ テイスト・オブ・ツクバ | 2 戦 4 日間 | 内 2 戦入場者制限 |
| ⑤ 筑波耐久ロードレース 耐久茶屋 | 1 戦 1 日間 | |

全日本ロードレース選手権およびテイスト・オブ・ツクバの計3戦は、各日の入場を1,000人に制限し、筑波ロードレース選手権他の計2戦は無観客とした。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底することにより、各大会を無事に開催することができた。

(3) オートスポーツの普及に関する広報事業

オートスポーツの面白さ、楽しさ及び筑波サーキットを多くの人々に紹介するための広報活動を行った。

① インターネットのホームページ

筑波サーキットの公式サイト（ホームページ）により、施設案内、レース及びイベントの開催情報、ライセンス会員募集案内、会員走行案内、コース貸切情報、動画配信、筑波サーキットの天気や路面状況などをWEBカメラによりリアルタイムに伝えるなど多くの情報を迅速かつ適切に提供を行った。

また、ユーチューブなどの映像素材を通してサーキットの迫力あるシーンの提供、ツイッターやフェイスブックによる情報提供などによりサービスの向上並びにオートスポーツの普及に努めた。

② 筑波ライセンス会員等への情報提供

スポーツ走行、ファミリー走行のスケジュール情報を随時更新するとともに、年間レースカレンダーを発行した。また、会員特典として主なレース観戦の優待割引を実施した。

③ 東京モーターサイクルショーでの広報活動

新型のコロナウイルス感染拡大の影響により、一昨年から開催中止となっていた「東京モーターサイクルショー」が、令和4年3月25日～27日まで3年ぶりに東京ビックサイトで開催された。来場者は3日間で約124,000人であった。

本財団も日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）と合同で専用ブースを設け、筑波サーキットのPRを行った。専用ブースでは、主催レースを大型映像で紹介し、競技車両の展示を行うとともに、公式Twitterのアカウントをフォローして頂いた来店者に、モーターサイクルショー限定ステッカーの配布などを行い、3日間で約800人の新規フォロワーを獲得した。

(4) オートスポーツの安全思想啓発のための各種スクールの実施及び安全走行のための指導事業

オートスポーツを多くの人に安心して楽しんでもらうために、サーキット走行の安全指導のためのスクールを開催した。

① 親子ミニバイク教室

オートバイの楽しさ面白さを体験しながら親子のコミュニケーションを図るために小学生とその親を対象とした「親子ミニバイク教室」を4回開催した。（参加者69名）

② サーキットアドバイザーによる指導

2輪車のサーキット走行初心者である「ファミリー走行ビギナークラス」において、2輪車のロードレース大会での豊富な経験を有するサーキットアドバイザーにより、走行マナー、ルール、マシン点検などの説明を事前に行うとともに、実際の走行時には適宜並走を行うなど状況に応じたアドバイスをを行い安全走行の啓発に努めた。

また、新たに4輪の初心者を対象にアドバイザー制度を設け、2輪同様にアドバイスをを行い安全走行の啓発に努めた。

③ 体験走行会

サーキットへより一層の親近感を持ってもらうことを主眼に、自分の車両でサーキットを走行できる体験走行会を主催レース開催時に7回およびスポーツ走行開催日に9回実施した。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加は事前申込みとし、各回定員制限を行い実施した。

参加実績は、主催レース開催時、4輪 61 台（前年度 46 台）、2輪 76 台（前年度 15 台）。スポーツ走行開催日、4輪車 94 台（前年度 74 台）、2輪車 94 台（前年度 59 台）であった。

④ 4輪ドライビングスクールの開催

サーキット走行未経験者から本格的にサーキット走行を楽しみたい方を対象とし、プロのインストラクターによる指導・アドバイスを行いモータースポーツの楽しさを実感して頂ける「TOYOTA GAZOO Racing Driving experience」をトヨタ自動車（株）と連携し開催した。参加者は60名であった。

2. その他の実施事業

(1) 施設の貸出に関する事業

① コース 2000 及びコース 1000

従来と同様にロードレース大会、走行会、試乗会、テスト走行、高速運転訓練等のために貸出した。貸出時間数はコース 2000 973 時間（対前年度比 41.0%増）、コース 1000 1,302 時間（対前年度比 35.6%増）であった。

② ジムカーナ場

ジムカーナ愛好者による競技大会、練習会等のため貸出した。貸出時間数は2,445 時間（対前年度比 19.0%増）であった。

③ 500m競走路、整備工場及び宿泊棟の敷地

公益財団法人 JKA に賃貸した。

④ 体育館

公益財団法人 JKA 及び周辺住民のスポーツ活動や文化活動のために貸出した。

(2) 施設の整備に関する事業

① コース 2000 路面改修工事

コース 2000 のホームストレートから第1ヘアピンの進入までの路面が経年劣化により傷んできているため、既存部分のアスファルトを切削廃棄し、新に舗装を行った。

② コース 2000 監視カメラシステムの更新

コース 2000 のカメラシステムのリース契約満了に伴い、一層きめ細かい監視体制を整えるためカメラを新たに3か所増設するなど監視体制を強化するため、全面リニューアルを行った。

③ 体育館の修繕

建設後30年以上が経過し、屋根、壁面の劣化及び雨漏りが発生してきていた。

そのため、公益財団法人 JKA の補助事業として改修工事を行った。今後、講習会やイベント開催時ミーティングなどの使用や地域の方々のスポーツ活動などに寄与できるものと思われる。

④ ガードレールの3段化

コース 2000 の更なる安全対策の一環として、継続的にガードレールの3段化工事を行っているが、今年度においてはバックストレートのイン側約 100m 区間において既存（2段）のガードレールを撤去したのち、新たに3段ガードレールを設置した。

⑤ 新型コロナウイルス感染防止対策

お客様が安心してご来場できるように感染予防の対策を引き続き行った。

- ・室内換気のための換気扇の増設
- ・ドライバーズサロンにアクリル板の設置
- ・消毒液の設置

⑥ その他

ゴミ箱の新設、場内の緑化及び植栽保持並びにサーキット内の美化清掃に努めた。

附 属 明 細 書

特に記載すべき重要な事項はありません。